



肝炎コーディネーターをより身近な存在に

令和8年度が始まり、早くも2か月が過ぎました。新年度の慌たじしさも少し落ち着き、初夏の気配を感じる季節となりました。新たな環境での生活や活動をスタートされた方も、日々のリズムが整い始めた頃ではないでしょうか。

本通信では、肝炎コーディネーターのみなさまの活動がより充実したものとなり、また府民の方々にとって肝炎コーディネーターがより身近で頼れる存在となるよう、さまざまな活動事例をご紹介します。

イラスト提供：京都肝炎友の会

第11号の内容

- 【お知らせ】 令和7年度【後期】京都府肝炎コーディネーター養成研修報告
令和8年度【前期】京都府肝炎コーディネーター養成研修のご案内
- 【特集】 カンゾーさんが行く 「洛和会丸太町病院の取組について」
- 【その他】 各種助成制度の利用状況
世界肝炎デーイベントのご案内

令和7年度【後期】京都府肝炎コーディネーター養成研修（新規・継続）の報告

要領の改正にともない、今回から既認定者へのフォローアップを目的とした受講も可能としており、41名の既認定者が受講されました。

（申込期間） 令和7年12月1日（月）～令和8年1月20日（火）

（対象者） 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、臨床検査技師、栄養士
医療事務、患者及び家族、自治会、自治体職員（全ての対象者）

（既認定者の合格者） 41名

（新規認定者） 58名

令和8年度【前期】京都府肝炎コーディネーター養成研修（新規・継続）の案内

初めて受講される方：養成研修の受講と認定試験の合格により、認定されます、
既認定者の方：養成研修の受講と認定試験の合格により、再認定の要件となります。

（申込期間）令和8年6月1日（月）～令和8年6月30日（火）

（対象者） 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、臨床検査技師、栄養士
医療事務、患者及び家族、自治会、自治体職員（全ての対象者）

案内チラシ記載のURL（又はQRコード）から申込画面で、簡単に申し込みが可能です。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=2199

肝炎コーディネーター養成研修会（新規・継続）【前期】のご案内

主催：京都府・京都府肝炎診療連携拠点病院（京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院）
京都府では、肝炎対策を各地域で進めるため、「肝炎コーディネーター」を養成しています。この度、肝炎コーディネーター養成研修会をフルオンライン配信で開催します。この機会に、「ウイルス性肝炎」について学んでみませんか。
また、本研修会は、既認定者の認定期間における再認定要件としての継続研修も兼ねております。



開催方法 フルオンライン配信
*都合の良い時間に視聴することができます（スマホからも視聴できます）

申込期間 令和8年6月1日（月）～令和8年6月30日（火）
https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=2199

受講の流れ ①URL又はQRを読み取り、申込期間内に申し込み
②講義動画視聴用（YOUTUBE）のURLが記載されたメールが届く
③自分の都合の良い時間に講義を視聴（視聴期限：令和8年7月10日）
④メール内のURLから認定試験に解答（解答期限：令和8年7月10日）
※合格者には採点結果と認定申請の通知が届きます。
※恐れ入りますが視聴に係る通信料はご負担ください。

対象者 京都府内勤務のすべての対象者（無所属の場合は京都府内に居住する方）
医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、臨床検査技師、栄養士、医療事務
患者及び家族、自治会、自治体職員（既認定者の方も対象です。）

◆プログラム◆	
基礎編	1.肝炎コーディネーター制度について（動画）約5分 2.ウイルス性肝炎とその治療（動画）約34分 3.肝炎患者による講演（動画）約24分 4.京都府の肝炎対策（PDF：無料肝炎検査、助成制度等）
応用編	1. B型肝炎の病態と治療（動画）約25分 2. C型肝炎の病態・治療薬について（動画）約30分

事務局：京都府健康福祉部健康対策課がん対策係
電話：075-414-4765（直通） 受付時間：平日9時～17時 メール：kertai@pref.kyoto.lg.jp



今回は、洛和会丸太町病院の薬剤部でご活躍されている中村さんと大上さんにお話を伺いました。丸太町病院では、B型肝炎ウイルス(以下、HBV という。)の再活性化対策にどのように取り組まれているのか、教えてください。

中村さん

がんで化学療法を開始される外来の患者さまを対象に、2015年3月から薬剤部においてHBVの感染歴を確認する体制を整えました。

抗がん剤や免疫抑制剤が処方されている患者さまをスクリーニングし、HBVの感染歴が確認された場合には、定期的に肝炎ウイルス検査が実施されているかを確認しています。

モニタリングが行われていない場合には、薬剤部から検査オーダーを行い、継続的なフォローアップにつなげています。また、見落としを防ぐため、電子カルテ上で抗がん剤等の処方時に警告のポップアップを表示したり、HBV既感染者にフラグを立てるなどの工夫も行っています。これらの取組は、院内で採用されていない医薬品も含めて対象としています。

このように、化学療法や免疫抑制剤の使用前にHBs抗原、HBs抗体、HBc抗体のスクリーニングを実施し、既感染者では、HBV-DNA量を定期的にモニタリングすることで、HBVの再活性化に対する管理を適切に行えています。



HBV再活性化の予防にあたっては、どのような診療科・職種と連携して進められましたか。

中村さん

外科の医師からは、薬剤師が検査オーダーを行うことについて理解が得られており、消化器内科の医師ともHBV既感染者に関する連携がスムーズに行えています。また、感染制御認定看護師とも日頃から連携しながら、適切な対応につなげています。

院内のコミュニケーションにはチャットツール(Microsoft Teams)を活用しており、忙しい診療の合間でも情報を共有し、確認しやすい環境づくりを行っています。



薬薬連携会議 地域薬局薬剤師との情報共有 門前3薬局と実習生も参加

外来化学療法と薬局連携
2025.08.20

沼和会九太町病院
薬剤師
中村 美樹

医療事故の公表

✓ 関節リウマチの治療中、免疫抑制剤等によりB型肝炎ウイルスが再活性化し、肝不全から死亡に至った事例
「乳がんの手術を目的に当院に入院し、薬剤師により入院～2021年3月時に内部中の薬剤及び周辺部に休業が必要な薬剤などの確認が行われたが、患者がHBV 既往感染者かどうか、HBV-DNA 量がモニタリングとれているかについての確認は行われなかった。」

名古屋大学医学部附属病院

免疫抑制・化学療法前 HBV再活性化対策

HBVキャリア及び既往感染者をスクリーニング
HBs抗原、HBe抗体およびHBs抗体を測定

↓

陽性の既往感染者をモニタリング
HBV DNA定量 1回/1～3か月

当院のHBV再活性化対策

抗がん剤処方アラート
抗がん剤に肝治療薬使用患者へ検査するよう連絡
抗がん剤・C肝治療薬モニタリング

抗がん剤スクリーニング

非揮発性医薬品使用申請書
一部の免疫抑制剤Bio製剤スクリーニング

中村さん
再活性化リスクの高い外来の患者さまを対象としていることから、地域の薬局との薬薬連携会議を開催し、HBV再活性化防止に向けた取組について情報共有を行っています。



令和7年7月
医薬品の安全使用に向けて
No.467

免疫抑制・化学療法開始前のHBV（B型肝炎ウイルス）のスクリーニングと既往感染者の定期的なモニタリングをお願いします

他施設の事例
関節リウマチの治療のため、HBV既往感染者に対し免疫抑制剤等を使用中、HBV-DNA量や肝機能の適切なモニタリングがなされなかったため、HBV再活性化の早期発見ができず、肝不全により死亡した。

HBV再活性化とは
一度HBVに感染すると、血中からは消失しても肝細胞中には残っていることが明らかになっています。この様な感染既往者が免疫抑制剤の使用や化学療法によってHBVが再増殖する恐れがあります。再増殖によって再活性化を引き起こし、肝炎が重篤化しやすくなるだけでなく、肝炎発症による原疾患の治療も困難になります。

感染情報の確認方法
個人カルテの青旗で確認できます。

個人カルテの血液型右下にある青旗にカーソルを合わせて右側の様に感染情報がポップアップされます。

ガイドラインにおけるHBV再活性化対策
B型肝炎治療ガイドラインでは、HBV再活性化リスクを有する免疫抑制・化学療法を行う全患者さんに対して、治療前にHBs抗原・HBe抗体・HBs抗体検査でスクリーニングを行い、HBe抗体陰性でHBe抗体又はHBs抗体が一方もしくは両方陽性の場合にはHBV-DNA定量検査を行う。HBs抗原陽性の場合には当院消化器内科にコンサルトを行う。既往感染者においては肝機能値とHBV-DNA量を定期的（1～3ヶ月毎）にモニタリングし、基準値を超えた時点で治療を開始するように求めています。

(日本肝臓学会 B型肝炎治療ガイドライン2022年版第4版より改変)

大上さん
チャットツール上に「医薬品安全使用における」という資料を掲載し、HBV再活性化防止に関する周知を行いました。
資料の作成は若手職員が担当し、HBV対策への理解を深めるとともに、実務経験を積む良い機会にもなったようです。





運用を始めるにあたって、現場で苦勞した点などがあれば教えてください。

中村さん

取組を始めた 2015 年当初は、CLIA(化学発光免疫測定法)や PHA(受身赤血球凝集反応)など、測定方法の違いがいくつもあり、戸惑うこともありました。

また、肝炎ウイルス検査については、検査のコスト面や、検査項目数や包括項目の有無によってしせつの点数が変わるため、保険点数の考え方にも苦勞したことを覚えています。



今後、肝炎ウイルス対策の取組をどのように発展させていきたいと考えていますか。

中村さん

今後は、患者さま自身の病識向上も重要と考えています。現在はスクリーニング、モニタリング、検査オーダーを適切に運用していますが、電子カルテ共有サービスによる統一化が進むことで、医療施設間で感染症情報をシームレスに共有できる環境が整備される見込みです。この基盤により、施設をまたいだ一貫した感染症管理が実現することを期待しています。



大上さん

あわせて、肝炎医療コーディネーターの活動を通じて、医療スタッフ一人ひとりの知識や対応力の向上を図り、HBV 再活性化防止体制の一層の充実を目指していきます。



中村さん、大上さん、有難うございました。

洛和会丸太町病院では、外来で化学療法を実施する患者さまを対象に、薬剤部で HBV 感染歴のスクリーニングおよび定期モニタリング体制を構築されていました。

電子カルテでの警告表示や検査オーダーを活用することで HBV 再活性化を防止し、院内の多職種や地域薬局と連携しながら、継続的な管理を実施されているとのことでした。

また、肝炎医療コーディネーターの活動を通じて医療者の知識や対応力の向上を図り、HBV 再活性化防止体制をさらに充実させていく方針であることが伺えました。

今後の一層の肝炎医療コーディネーターのご活躍に期待しております。



【その他のご案内】

助成制度の実績報告

◆肝炎医療費助成事業の推移 受給者証交付実績

年度	R3	R4	R5	R6
B型（新規）	87	79	91	79
〃（更新）	1331	1,346	1,385	1,366
C型（新規）	216	187	176	153

◆肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の推移 助成件数

年度	R3	R4	R5	R6
件数	44	19	19	55

◆肝炎ウイルス初回精密検査、定期検査費用助成事業の推移 助成実績

年度	R3	R4	R5	R6
初回精密	13	11	5	9
定期検査	45	46	37	31

◆肝がんの年齢調整罹患率・死亡率（人口10万対）及び死亡数の推移 京都府下

年度	H30	R1	R2	R3
罹患率	13.1	12.2	11.3	10.9
死亡率	7.4	7.4	6.6	5.8
死亡数	553	570	498	494

【お知らせ】 世界肝炎デーにあわせて、街頭啓発イベントを開催します。

今年も7月28日の世界肝炎デー（日本肝炎デー）にあわせて、街頭啓発イベントを開催いたします。

《ゼスト御池にて7月30日（木）12:00～13:00開催予定》
肝炎コーディネーターの皆様にご参加、ご協力をいただき、多くの方に肝炎ウイルス検査の必要性を知っていただく啓発活動を予定しております。



2025年のイベント（ゼスト御池）

ご協力いただける方は、下記 URL よりお申し込みくださいますようお願いいたします。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=2200



【内容】

- ・ 通行人に対して、リーフレットを配布し、自覚症状が現れにくい肝疾患に対する啓発を実施する。
- ・ 来場者に肝炎ウイルス検査を受けることが可能な医療機関の紹介など、相談ブースを設置して個別相談を実施する。

【その他】

イベント会場までの交通費は各自でご負担をお願いします。

ご寄稿

肝炎コーディネーターの方に、コーディネーター通信への寄稿を募集しています。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=298



啓発資料

患者への啓発活動にご活用ください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kyoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=326



～ カンゾーさんの編集後記 ～

今月号では、洛和会丸太町病院に所属する肝炎コーディネーターの皆さまによる実践的な取組を取り上げました。各現場での工夫や経験が、自施設での活動を考える一助となれば幸いです。

ご意見やご感想もお待ちしております。皆さまからの声をもとに、より役立つ内容をお届けできるよう努めてまいります。

今後も、肝炎ウイルス治療に関わる医療の発展を、皆さまとともに考えてまいります。

発行：京都府肝炎コーディネーター事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府健康福祉部健康対策課

電話：075-414-4766 FAX：075-431-3970 kentai@pref.kyoto.lg.jp